

平成 26 年度

# 金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 27 年 3 月

(2015 年)

金 沢 市

(金沢市埋蔵文化財センター)



# 例 言

1. 本書は、金沢市都市政策局歴史文化部文化財保護課および金沢市埋蔵文化財センターが平成 26 年度に行った埋蔵文化財保護行政の概要、成果および結果を公表することを目的として刊行するものである。
2. 本書は、平成 26 年度に実施した埋蔵文化財の発掘調査、分布調査、および教育・普及・啓発活動に関することを中心に編集したものである。
3. 本書に掲載した埋蔵文化財の遺構・遺物等の写真は、それぞれの担当者が撮影した。
4. 各遺跡の遺跡番号は石川県遺跡・文化財情報システム（平成 25 年度版）及び金沢市遺跡地図に準拠している。

# 目 次

1. 埋蔵文化財発掘調査等事業	1
2. 埋蔵文化財分布調査事業	20
3. 教育・普及・啓発活動事業	29
4. 組織	34

# 1. 埋蔵文化財発掘調査等事業

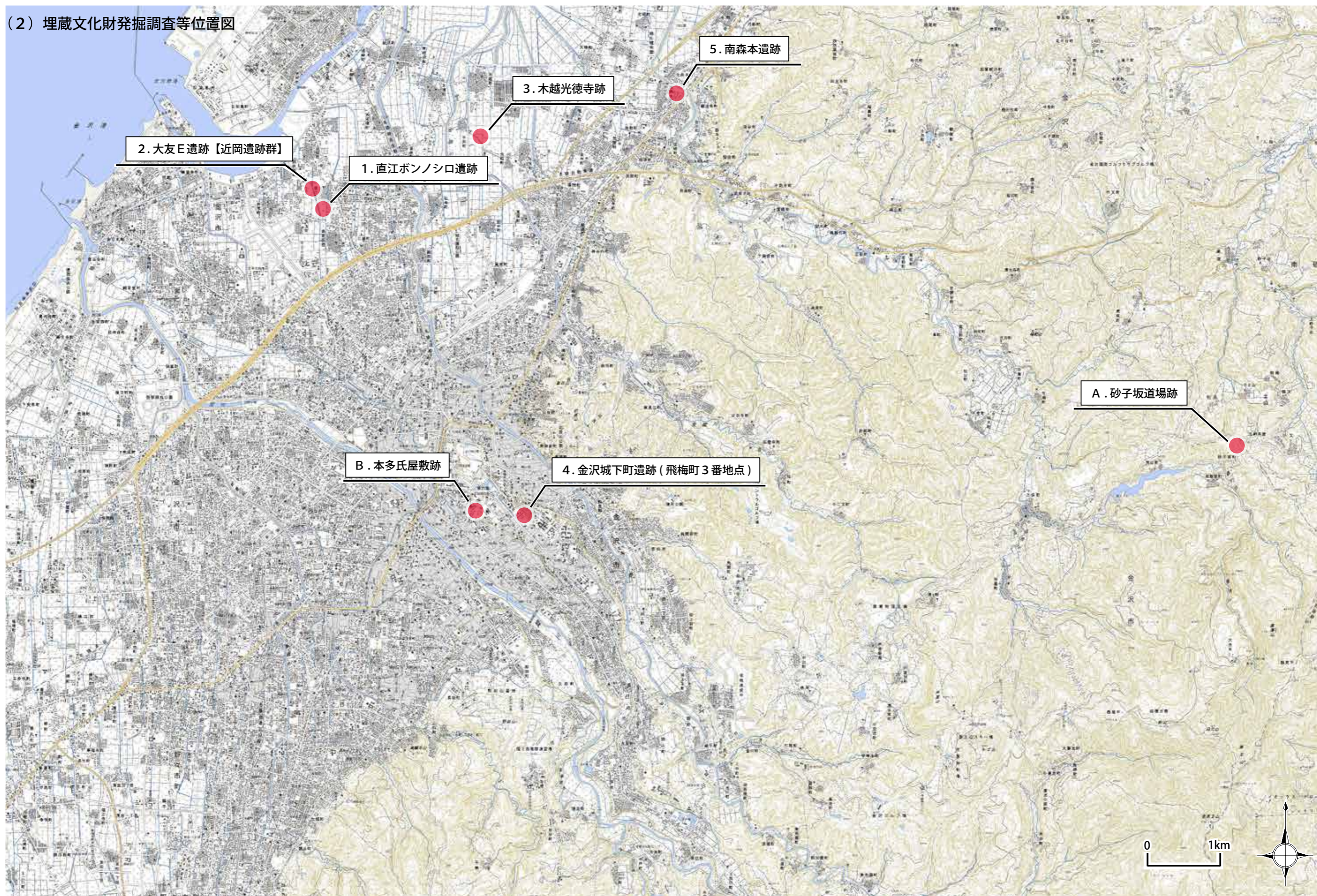
## (1) 埋蔵文化財発掘調査等一覧

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
<b>緊急発掘調査</b>										
なおえ いせき 直江ボンノシロ遺跡										
1	金沢市 直江町地内	1,188㎡	体育館建設 貯留施設整備 (公 共)	20140519 ～ 20140702	沖積地	10,749	6箱	弥生 古墳 江戸	平地式建物 土坑 方形溝 ピット	弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 石製品
おおとも いせき ちかおかいせきぐん 大友E遺跡【近岡遺跡群】										
2	金沢市 近岡町地内	1,040㎡	道路築造 (公 共)	20140729 ～ 20141029	沖積地	11,213	9箱	弥生 古墳	平地式建物 土坑 布掘建物 ピット 溝	弥生土器 土師器 須恵器 木製品 石製品 緑色凝灰岩片
きごしこうとくじあと 木越光徳寺跡										
3	金沢市 木越町地内	4,850㎡	道路築造 (公 共)	20140811 ～ 20150105	沖積地	36,483 (掘削等含まず)	35箱	奈良 平安 鎌倉 室町 安土・桃山	堀跡 掘立柱建物 井戸 溝 土坑	須恵器 土師器 木製品 輸入陶磁器 漆器 銭貨
かなざわじょうかまち いせき とびうめちよう ほんちてん 金沢城下町遺跡(飛梅町3番地点)										
4	金沢市 飛梅町地内	860㎡	貯留施設整備 (公 共)	20141002 ～ 20150309	台地	24,600 (掘削含まず)	60箱	江戸	(武家屋敷跡) 井戸 地下室 区画溝 掘立塀 土坑 ピット	陶磁器 土器 土人形 金属製品 銭貨 石製品 木製品
みなもりもと いせき 南森本遺跡										
5	金沢市 南森本町地内	420㎡	宅地造成 (民 間)	20150209 ～ 20150328	河岸段丘	726 (掘削、作業員、仮 設建物等含まず)	8箱	弥生 古墳 平安 鎌倉 室町	井戸 土坑 溝	土師器 須恵器 陶磁器 木簡 漆器 金属製品

No.	調査地	調査面積	調査原因	調査期間	立地	経費(千円)	出土遺物数	時代	主な遺構	主な遺物
<b>学術調査</b>										
すなござかうじょうあと か がいつこういつきかんれんいせき こうどう 砂子坂道場跡【加賀一向一揆関連遺跡と古道】										
A	金沢市 砂子坂町地内	200㎡	学術調査 (公 共)	20140925 ～ 20141121	丘陵	6,335	1箱	室町	平坦地 切岸 堀 土塁 石組土坑(井戸か)	土師器皿 越前焼 珠洲焼 砥石
ほんだしやしきあと 本多氏屋敷跡										
B	金沢市 本多町三丁目地内	39㎡ レーザー 測量	学術調査 (公 共)	20141028 ～ 20150331	台地斜面	1,535	—	江戸	石垣 道	—

※「出土遺物数」は容量36ℓテンバコに換算した数量である。

(2) 埋蔵文化財発掘調査等位置図



### (3) 埋蔵文化財発掘調査概要

#### 1. 直江<sup>なおえ</sup>ボンノシロ<sup>いせき</sup>遺跡

(遺跡番号 県：144100 市：441)

所在地：金沢市直江町地内

北緯 36° 36′ 09″

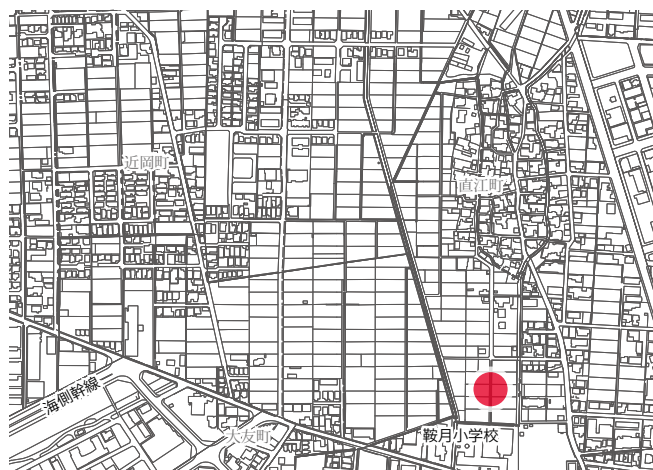
東経 136° 37′ 58″

調査面積：1,188㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、江戸

担当：新出 敬子



#### ■ 遺跡の概要

金沢市では、平成26年5月19日から7月2日の期間、鞍月小学校の体育館築造および貯留施設整備工事に先立ち、直江町地内で直江ボンノシロ遺跡の発掘調査を行った。

本遺跡では、平成21～22年度に行われた発掘調査で、縄文～中世の集落跡がみついている。今回、平成22年度調査区の南側に隣接する地点を発掘調査した。

発掘調査では、調査区のほぼ中央で一辺約7.6m 方形区画溝が検出された。溝からは弥生時代末～古墳時代にかけての土師器が出土している。また、同じく調査区中央で直径が約25mの平地式建物の周溝を確認した。溝からは古墳時代初頭の土師器が出土している。また、調査区西端で古墳時代の川跡を検出したほか、調査区東側から西側へ流れ、途中で北側に直角に曲がる幅10m 近世～近代の溝跡がみつかった。また、1箇所地山に縄文時代晩期の土器が刺さった状態でみつかった。平成22年度の調査でも同様な出土状況が確認されていることから、近隣に縄文時代晩期の遺跡が存在する可能性が高まった。



方形区画溝 (南から)



SD03 溝土器出土状況 (南から)

## 2. 大友E遺跡【近岡遺跡群】

(遺跡番号 県：143800 市：438)

所在地：金沢市近岡町地内

北緯 36° 36' 22"

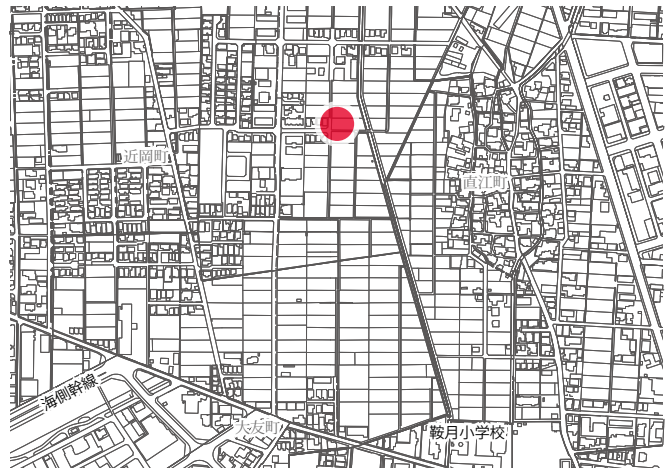
東経 136° 37' 48"

調査面積：1,040㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳

担当：新出 敬子



### ■ 遺跡の概要

大友E遺跡は金沢市の北西部、金沢港から南南東に約1kmの場所に位置する。金沢市では大友E遺跡を含む近岡遺跡群の発掘調査を平成23年度～平成25年度にかけて行っている。

今回の発掘調査は、都市計画道路・福久福増線（海側幹線側道）建設工事に先立ち、平成26年7月29日～10月29日にかけて実施したもので、平成23年度調査区の西側に隣接する。

平成23年度調査区では、主に弥生時代中期後半～終末期頃の溝や川等から弥生土器や赤彩桶・弓などの木製品が出土した。また古墳時代前期～中頃の布掘建物や掘立柱建物、方形土坑、溝、川等から土師器や須恵器のほか、鍬形石や管玉、白玉、棗玉、などの石製装飾品が出土した。平安時代では9・10世紀頃の建物や川がみつき、川からは大量の墨書土器が出土した。

今回の調査では主に弥生時代後期～古墳時代前期にかけての遺構や遺物が確認された。弥生時代では、後期前半と終末期の平地式建物周溝が検出された。また古墳時代では前期の布掘建物跡がみついている。平成23年度調査区でみつかった溝や川に関連する建物の可能性がある。出土遺物は弥生土器や土師器が大半を占めるが、管玉未製品が1点、緑色凝灰岩片がわずかながら出土している。調査区の北西側で、遺構や遺物が集中していることから、集落は調査区より西に展開するものと考えられる。



大友E遺跡 調査区北側（中央に平地式建物その1の周溝）



大友E遺跡 調査区遠景（北から）



平地式建物その1の周溝



平地式建物その1の周溝遺物出土状況



布掘建物（北から）



平地式建物周溝その2（東から）



### 3. 木越光徳寺跡

(遺跡番号 県：146800 市：468)

所在地：金沢市木越町地内

北緯 36° 36′ 50″

東経 136° 39′ 43″

調査面積：4,850㎡

種別：社寺跡

主な時代：奈良・平安、鎌倉、室町、安土・桃山

担当：景山 和也



#### ■ 遺跡の概要

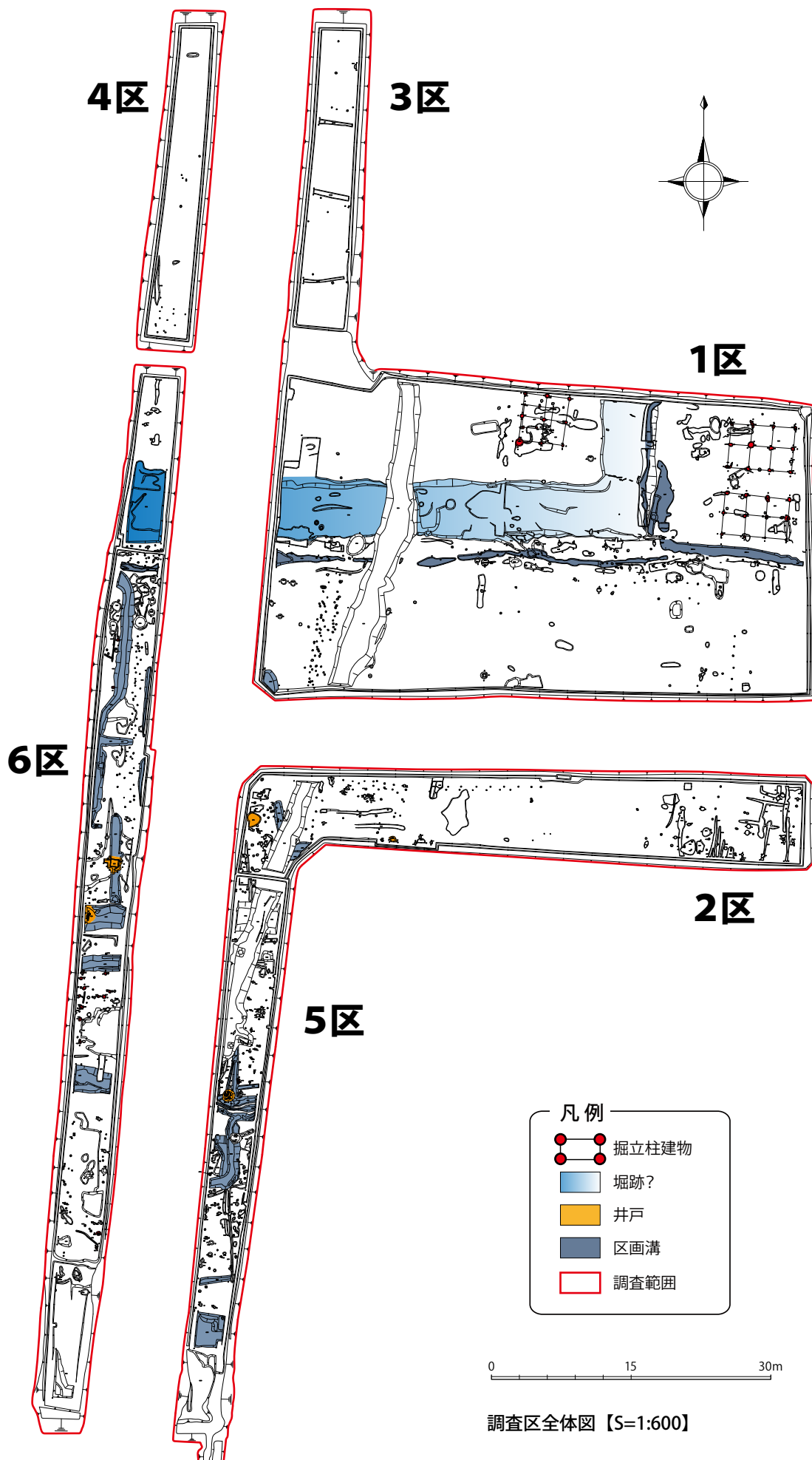
15世紀後半になると北陸における真宗本願寺派の布教活動が活発化するが、当地においてその中心的役割を担ったのが木越光徳寺である。長享2年(1488)、本願寺派の坊主・門徒らが時の守護富樫政親を高尾城で自害させた、世に言う「長享の一揆」は、加賀に一向一揆の国を樹立させることとなるが、その主要構成員の中には木越光徳寺をはじめとした河北郡の坊主・門徒衆が多く含まれていた。

木越光専寺、木越光琳寺を含め、のちに「木越三光」と呼ばれた三寺は、元亀3年(1572)に加賀の一向一揆勢力と越後の上杉謙信との合戦が開始されると、村の周囲に堀を整備して河北潟の水を引き込み、要塞と化したといわれる。天正8年(1580)には加賀攻略を狙う織田信長軍との主戦場となり、激しい攻防を繰り広げたが、佐久間盛政、長連龍に攻め入れられ、激戦の末同年3月に陥落した。現在木越集落の西を流れる血ノ川の名称は、討ち死にした兵士の血で赤く染まったことに由来するとされ、往時の凄惨な光景を今に伝えている。

今回の調査では、幅約6mの大溝が検出されている。特筆すべきはこの大溝が東西・南北方向へ直角に屈曲すること、深さが約40cmと一様であることである。土地を区画するために人為的に作られたことは疑いないが、木越光徳寺跡の堀跡と考えるには浅すぎる印象は否めない。この大溝からは、板状・箸状の木製品や土師器の小皿、漆塗の椀や皿、青磁などが出土しているが、遺跡全体として遺物の量は非常に少ない。

この大溝に沿う形で、掘立柱建物跡が4棟検出された。大溝の西側に位置する総柱建物の柱穴からは、直径約1cm、厚さ約2mmの円盤状で、中央に穴の開いた木製品が約20点出土した。類例に乏しく、用途は現在のところ不明である。建物の建築に伴って柱穴に埋められたものと考えられる。大溝の東側では礎板を残す2×3間の総柱建物2棟が並んで検出された。北側の建物は同位置での建て替えが行われている。調査区の南側及び西側は遺構密度が比較的高く、南側では区画溝、西側では掘立柱建物及び縦板組の井戸などが検出されている。

地盤は粘土・砂・植物遺体の入る層が折り重なっており、湿地帯の様相といえ、加えて無遺構の範囲が多くあることから、当時の木越光徳寺は現在の地盤より高く、昭和の耕地整理等でその大部分が削平されてしまったと考えられる。もともとの地盤が高かったのであれば、大溝に堀としての性格を与えることも可能と考えられる。次年度以降継続される発掘調査により、木越光徳寺跡の性格がより明らかになるものと考えている。



調査区全体図【S=1:600】



遺構検出状況（1区 南西から）



遺構検出状況（2区 南西から）



堀跡か（1区 南西から）



井戸（2区 東から）



掘立柱建物（1区 北西から）



柱穴 木製品出土状況（1区）



掘立柱建物（1区 北東から）



柱穴 礎板出土状況（1区）



完掘状況（3区 南から）



完掘状況（4区 南西から）



完掘状況（5区 南から）



完掘状況（6区南半部 北東から）



区画溝 遺物出土状況（5区 北から）



区画溝 遺物出土状況（5区 北西から）



井戸 木製品出土状況（6区 北から）



同左拡大

#### 4. 金沢城下町遺跡 (飛梅町3番地点)

(遺跡番号 県：130416 市：304-16)

所在地：金沢市飛梅町地内

北緯 36° 33' 30"

東経 136° 40' 01"

調査面積：860㎡

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：庄田 知充



#### ■ 遺跡の概要

本発掘調査は金沢市立紫錦台中学校敷地内における内水整備課による準用河川源太郎川流域貯留施設整備工事に伴うもので、調査区は第二体育館北東にある同校のテニスコート内に位置する。発掘調査は、並行して施工した貯留施設の工区に従って3区に分けて実施された。調査区内の地表面はほぼ水平だが、基本層序は現地表から約1.0～1.8mまでが盛土層であり、その直下で淡黄褐色粘質土の地山面が展開する。地山面は源太郎川の流れる北東の谷部に向かって緩やかに傾斜している。遺構の多くは地山直上で検出されたが、一部地山の上に約10～30cmの近世整地層が残っている箇所があり、その部分では遺構が上下2面にわたって確認された。

本調査区は、藩政期においては「加賀八家」前田家（長種系）の下屋敷（家臣および親族の屋敷地）および人持組の大音家の下屋敷の一角に当たる。

加賀藩の直臣は、人持組頭、人持組、平士、足輕に大別される。人持組頭は、加賀藩の年寄役を務めた家臣最上位の家柄で、いずれも1万石以上の禄高を持ち、貞享3年（1686）以降8家が世襲し、月番で藩の執政を勤めた。人持組は、時に家老などの重職に就くこともあり、高禄の者は1万石以上、少ない方では1千石程度の禄高で約70家が存在した。前田家（長種系）は、尾張前田同族の別家で初代前田長種の妻は利家の長女幸、家禄は幕末段階で1万8千石。大音家は、人持組4千3百石で、利家越前時代に家臣となり、各合戦や主に能登方面で政治活動を行った能登小丸山城代大井直泰と、その子で、魚津郡代なども務めた大音厚用（大音主馬）を祖とする。本調査地は両家の下屋敷地に当たるが、現在のところ下屋敷地内の地割を知ることが出来る絵図等は確認できていない。

遺構は、素掘りの井戸、地下室、粘土採掘坑、溝、集石遺構、大小の土坑、ピット等である。井戸は、検出深度まで全て素掘りで、11基が見つかった。調査区南東部で見つかった井戸は素掘りだが、地表面に石が環状に1段だけ装飾的に並べられており、あたかも石組井戸のように見える遺構となっている。地下室は、大小2基が見つかった。大型のものは、床面が約3.5m×約2.7mの長方形で壁面は約2.4m垂直に立ち上がり、北東側上部にわずかに天井部の残欠と思われる張り出しが残り、南西側上部にステップ状の段が造られている。小型のものは、床面が約1.6m×約1.5mの長方形で壁面は約1.2m垂直に立ち上がり、西側上部に天井部の残欠と思われる張り出しが残り、東側に連続して掘削されたほぼ同時期の土坑側が出入り口だったと推定される。地下室以外にも大小の土坑が多数検出されている。そのうち粘土採掘坑と思われる土坑は、上層の粘砂質の層を残しぎみにして下層の粘土層をえぐるように掘り込み、最下層の礫層に達すると掘り残すというもので面形は隅丸方形または楕円形で、長辺（径）が2m、深さ1m程度のもが多く、連続して配置される傾向がある。一

部には平面形が4 mを超える大規模なものもあり、採掘後、日常雑器などを投棄しながら埋め戻されたものも確認されている。溝は、北東から南西方向の区画溝と、南東から北西方向の幅の狭い溝が確認された。区画溝は、17世紀前半に造られて17世紀末までに大部分が埋められたのち、ほぼ同位置で掘立柱の塀に置き換えられている。17世紀後半の絵図では前田（長種系）家下屋敷と大音家下屋敷との境界にあたり、17世紀前半から同位置が何らかの境界であったことがわかる。また、この区画溝と直交して、前田（長種系）家下屋敷側に屋敷内の小区画と考えられる小規模な溝が掘られている。土坑密度が低い平坦地では、礎石の根石と考えられる集石ピットや建物基礎と考えられる「口」字状の集石溝が見つかった。

本調査では、加賀藩重臣の下屋敷地における、土木技術や土地利用のありかた、生活文化の変遷の一端を知ることができた。



区画溝



土取り穴



小型の地下室 (約 1.6m×約 1.5 m)



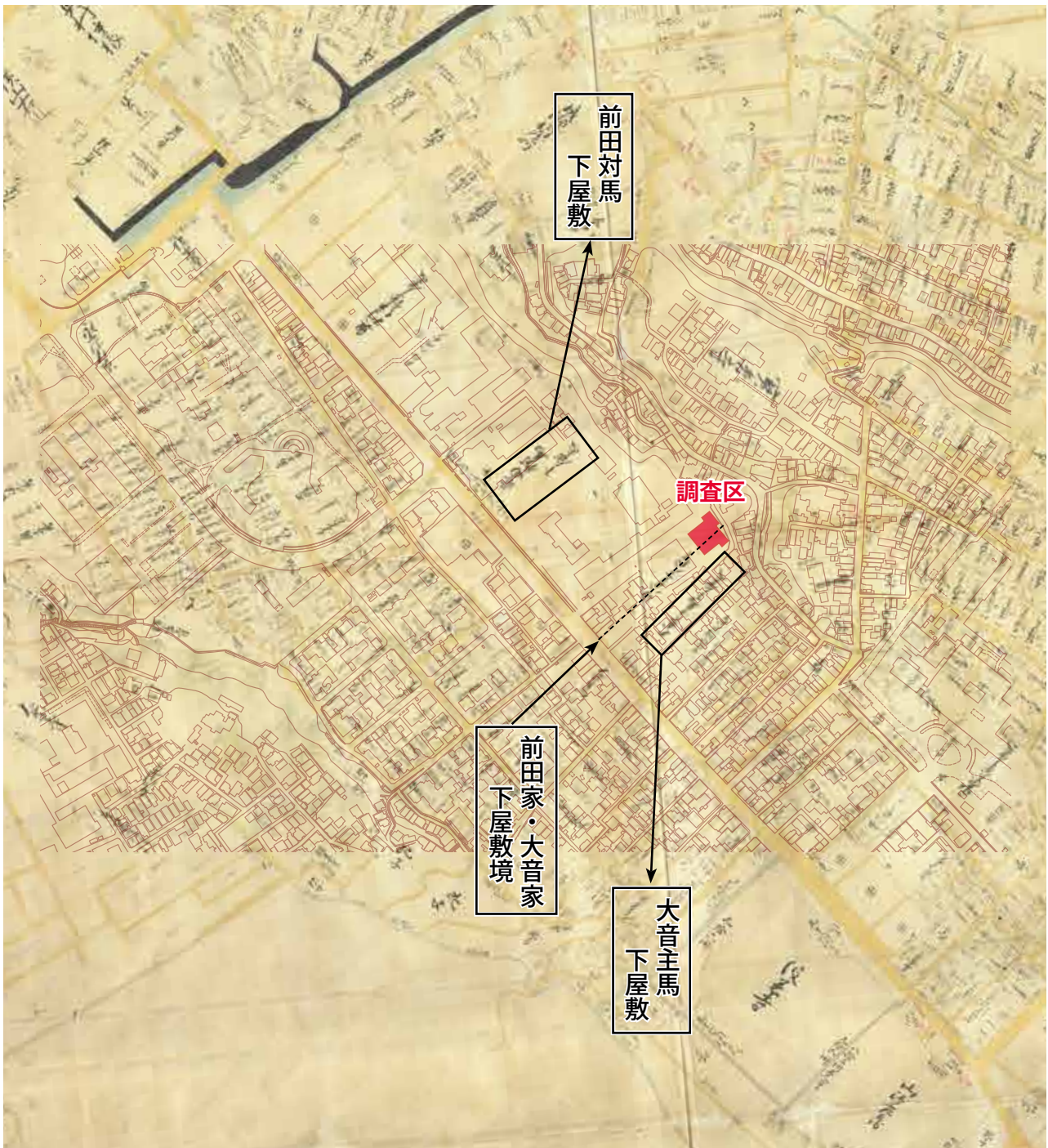
大型の地下室 (約 3.5 m×約 2.7 m)



礎石建物の根石 (集石ピット)



「口」字状集石溝と土取穴 (手前は完掘済み)



延宝金沢図と現在の都市計画図の重ね合わせ図（都市計画図の縮尺 S = 1/6,000）



一段の石列を伴う井戸



出土した肥前磁器

## 5. 南森本遺跡

みなもりもと い せき

(遺跡番号 新発見の遺跡のため無し)

所在地：金沢市南森本町地内

北緯 36° 37' 11"

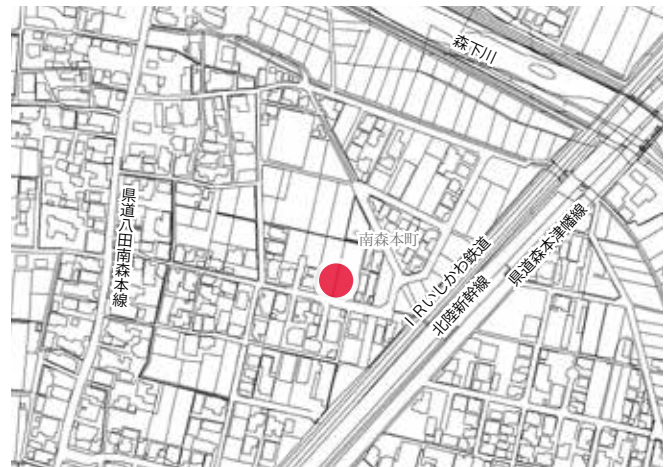
東経 136° 41' 48"

調査面積：420㎡

種別：集落跡

主な時代：弥生、古墳、平安、鎌倉、室町

担当：向井 裕知



### ■ 遺跡の概要

今回の発掘調査では、弥生時代終末期から古墳時代初め頃の土器が最も古いものとして見つかり、主な遺構としては、平安時代、鎌倉時代、室町時代の井戸や大型土坑、方形土坑、溝が検出された。

井戸は平安時代のものと室町時代のものが見つまっている。平安時代のものは、井戸枠が残っており、隅柱に横棧をかけて、縦板を挟み込む「縦板組隅柱横棧留め」のものである。井戸底からやや上方では、砂利が敷き詰められており、水質浄化の作用を目的としたものと考えられる。ただし、井戸底は湧水層に達していないため、どの程度の湧水量があったのかは不明である。室町時代のものは、井戸枠が残っていなかったが、直径や深さから井戸と推定している。ただし、掘削の最中に壁が崩落したために、井戸底は未確認である。大凡深さ 2.3 m 程掘削したが、井戸底には達しなかった。

大型土坑は、鎌倉時代のもので、直径約 4 m、深さ約 1.5 m の規模を確認している。中程の深さの所に炭混じりの黒色土層がレンズ状に堆積しているのが確認されたが、何に起因するのかはわかっていない。土師器皿や青磁碗、加賀焼などと共に下駄などの木製品が出土した。また、折敷状木製品の木簡が出土している。

方形土坑は、長辺約 3.2 m、短辺約 1.6 m の長方形土坑である。木箱（木棺か）の痕跡が土層観察で確認されており、屋敷墓の可能性が考えられるが、明確な副葬品は出土していない。

溝は調査区を南北方向に延びるものと、東西方向に延びるもの、また北東－南西方向に延びるものが確認された。南北と東西方向に延びるものは、室町時代のもので、東西方向のものより南北方向の溝が古い傾向にある。北東－南西方向に延びるものは、平安時代の溝で、須恵器が出土している。

これらの他、多くの穴が見つっており、掘立柱建物の柱穴になるものがあると思われるが、建物全体を把握できるものは確認できていない。柱根が残っている穴も見つまっている。

平安時代の遺構は 10 世紀前後のものが主体であり、近隣の観法寺遺跡で検出された古代北陸道が廃絶した後のものである。梅田 B 遺跡では同時期の集落が見つっており、南森本遺跡も同様の集落が存在した可能性がある。南森本遺跡で見つかった井戸は、構造や砂利敷きから、比較的格の高い階層の人々が使用していたものと考えられ、緑釉陶器も出土している。

鎌倉時代の遺構は、大型土坑だけだが、土師器皿の他、下駄や木簡が見つまっていることから、近くに集落があったことが想定できる。梅田 B 遺跡や観法寺谷遺跡でも同時期の集落が見つまっている。

室町時代は、最も多くの遺構と遺物が確認されており、主に 14 世紀後半から 15 世紀代のものが多く見つまっている。特に土師器皿が多く出土しており、当該期の土師器皿の年代を押さえる好資料と言えよう。また、黒色漆地に赤色漆で絵を描いた漆器小皿も出土している。





井戸（平安時代）土層断面



南北溝（室町時代）



井戸（平安時代）



東西溝（室町時代）焼土検出



大型土坑（鎌倉時代）土層断面



東西溝（室町時代）杭列検出



方形土坑（室町時代・屋敷墓か）土層断面



東西溝（室町時代）土師器皿出土状況

A. 砂子坂道場跡  
(加賀一向一揆関連遺跡と古道)

(遺跡番号 県：153100 市：531)

所在地：金沢市砂子坂町地内  
北緯 36° 34' 04"  
東経 136° 48' 03"

調査面積：200㎡

種別：寺院跡

主な時代：室町

担当：向井 裕知



## ■ 遺跡の概要

### (1) 加賀一向一揆関連遺跡と古道の概要

北陸は真宗王国と称されるほど真宗の門徒が多く、その礎は中世に遡るが、加賀・越中を結ぶ二俣越の沿道には、二俣本泉寺などの有力寺院や加賀・越中国境付近の金沢市伝善徳寺跡（のちの城端・善徳寺）、砂子坂道場跡（のちの福光・光徳寺）、南砺市土山御坊跡（のちの高岡・勝興寺）など、後の有力寺院の元となる道場跡が今も残っている。また、永正の越前一揆（1506年）の後、越前朝倉氏により北陸道が閉鎖されたため、二俣越は加賀より山科本願寺へ至る重要な陸路となる。

このように、加賀一向一揆に関連した寺院等が二俣越沿いに展開しており、現在もその姿を良く留めていることを特徴とする。

### (2) 砂子坂道場跡（福光・光徳寺）の歴史

本願寺8世蓮如は文明3年（1471）に越前（福井県あわら市）吉崎に吉崎御坊を構える。その際に少なくとも2回は越中（富山県南砺市）井波の瑞泉寺（本願寺5代綽如創建）を訪れている。その行路として、本泉寺のある二俣や砂子坂を通過する二俣越を利用していると考えられる。

その頃、砂子坂には高坂四郎左衛門という地侍がいたが、その弟の治部尉が跡を継いだ。治部尉は吉崎御坊を訪れ、蓮如に帰依して道乗という法名と阿弥陀如来の絵像を賜り、弟子として仕えたという。その後、蓮如が二俣本泉寺から越中を巡錫する際に先導役を務め、砂子坂を訪れた際に一字を建てた。これが光徳寺の創建と伝わる。

更に、先に与えた阿弥陀如来の絵像によって、蓮如自らがたたらを踏んで、金銅の像を鑄造して授けた。これが光徳寺の本尊であるといい、遺跡には嘉永5年（1852）に建立された記念碑がある。

堂宇は天正18年（1590）11月に落雷のために焼失し、その後現在の金沢市二日市町に再建されたが、慶長19年（1614）に現在の法林寺地内に移転し、今日に至るといふ。

ただし、伝善徳寺跡にあった善徳寺の前身が法林寺へ移転（1480年前後か）した時期と前後して、同じ法林寺に寺基を写したとも言われている。

光徳寺の所蔵品には次のようなものがある。

- ・蓮如上人書状：文明18年（1466）
- ・砂子坂末寺之覚帳：文禄3年（1594）
- ・金銅仏像（蓮如がたたらを踏んで作ったと伝わる。年代未詳。）
- ・六字名号

### (3) 発掘調査概要

#### 1. 調査の概要

最初に航空レーザ測量を実施し、詳細な地形図を得た上で砂子坂道場跡と想定される平坦地や釜中越と呼ばれる古道を、金沢市と南砺市が共同で調査を行った。

金沢市の調査では、石組みの井戸状土坑が検出され、15世紀後葉の越前焼などが出土している。

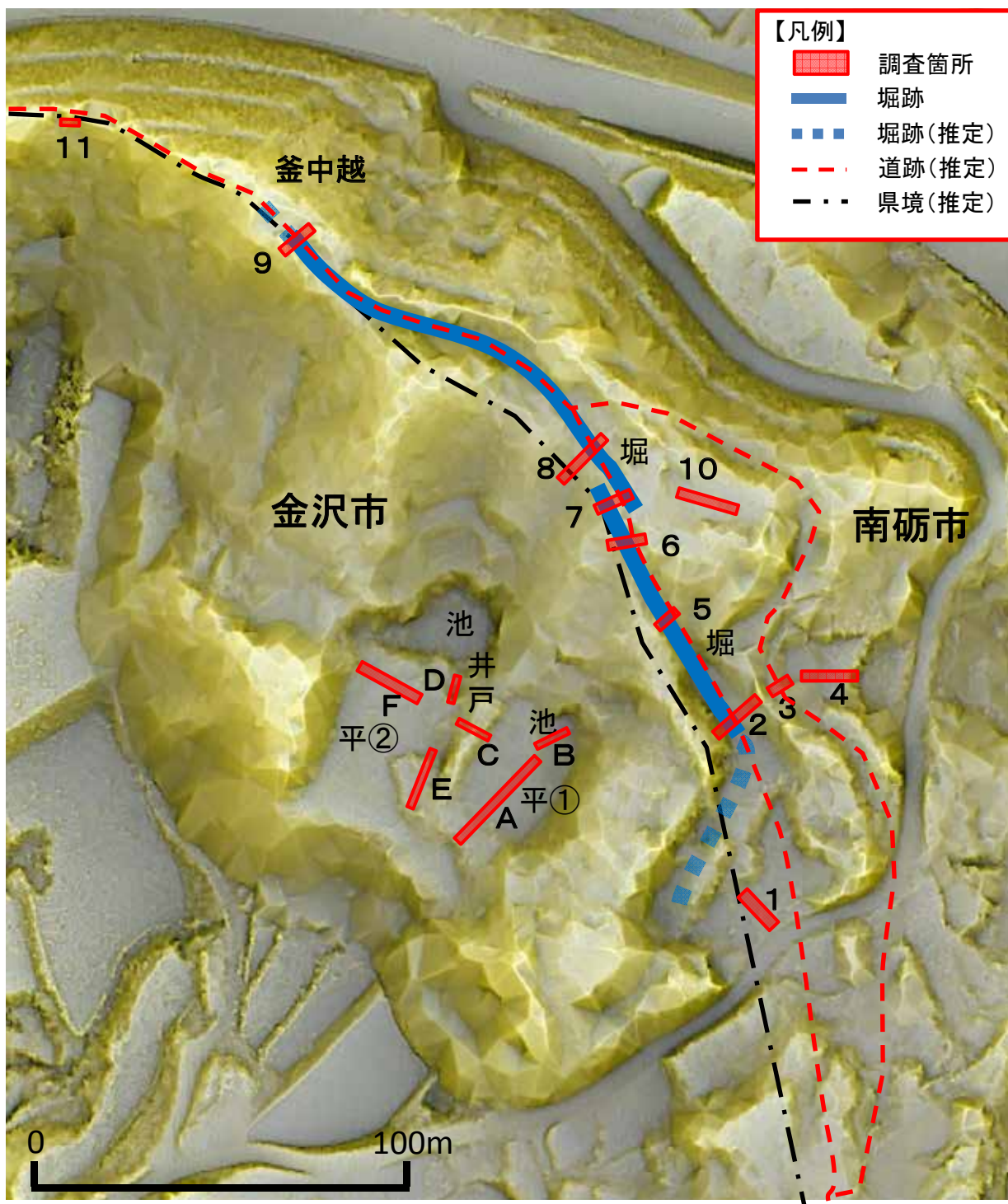
南砺市の調査では、釜中越と伝わる堀割状地形は堀の痕跡であることが明らかとなった。これは、平成25年度の伝善徳寺跡の調査でみつかった堀跡と一連のものと考えられ、越中側からの防御を目的として造営された可能性が高い。

#### 2. 検出遺構（調査区：アルファベットー金沢市、数字ー南砺市）

- ①造成された平坦地：A、E、F、1、4、10
- ②池か：B
- ③井戸状土坑（石組み）：D
- ④土塁（地山削り出し）：C
- ⑤堀（後に道として利用、釜中越）：2、5～9、11

#### 3. 成果

- ①出土品から15世紀後半の遺跡であることが確認され、平成25年度に調査した伝善徳寺跡と同年代で、両遺跡は限られた時期に営まれていた可能性が高いことがわかった。
- ②平坦地や土塁は、盛土や尾根の削り出しなど、大規模な土木工事によって、造成されていることが確認できた。
- ③越中側の尾根近くに堀が設けられており、伝善徳寺跡でも同様の堀が見つかることから、防御のために造営された可能性が高く、越中側からの防御を目的としていると考えられる。15世紀後半の遺跡であることから、加賀守護である富樫政親の要請に起因する文明13年（1481）の越中（砺波郡）一向一揆に関する遺構であると推定される。
- ④堀は、廃絶後に釜中越と呼ばれる古道に利用された。



砂子坂道場跡調査成果立体図

加賀・越中一向一揆関係表

年代	西暦	事柄	内容
文明3年	1471	吉崎御坊建立	蓮如が北陸への布教を強化する。
文明6年	1474	加賀一向一揆	文明の一揆。加賀守護の富樫幸千代が、本願寺門徒を味方につけた兄の政親に敗れる。
文明7年	1475	本願寺門徒の弾圧	加賀守護に復帰した政親の弾圧によって、本願寺門徒は越中の井波瑞泉寺に逃れる。
文明13年	1481	越中一向一揆	政親からの申し入れにより、石黒光義が井波瑞泉寺を中心とする真宗門徒を攻撃するも敗れる。
長享2年	1488	加賀一向一揆	長享の一揆。本願寺門徒を味方につけた富樫泰高や土豪層によって、政親が減ぼされる。



A調査区 平坦地調査状況



C調査区付近 土塁の現況



D調査区 石組井戸か



C調査区 土塁調査状況



7・8調査区付近 堀の状況



8及び9調査区の間 堀の状況



5調査区 堀検出状況



6調査区 堀検出状況

## B. 金沢城下町遺跡 (本多氏屋敷跡地区)

(遺跡番号 県：13405 市：258)

所在地：金沢市本多町三丁目地内

北緯 36° 39' 31"

東経 139° 44' 44"

調査面積：39㎡ (三次元レーザー測量)

種別：城下町

主な時代：江戸

担当：庄田 知充



### ■ 遺跡の概要

加賀藩では、貞享3年(1686)からの職制改革により、元禄3年(1690)以後、藩の重役である年寄役を八つの家柄(八家)が代々世襲し、月交代で藩の執政を担当、重要事項の決定には合議制を敷き藩政の運営をした。

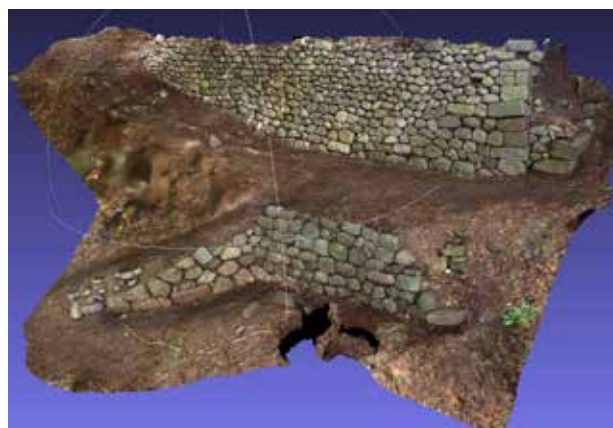
本多家は八家のなかでも最高の5万石を知行した。当主が居住し家中政務を執り行った上屋敷は、小立野台地の南西辺約1万坪の広さで展開していた。上屋敷に隣接する台地下には、親族及び陪臣が居住した下屋敷地を拝領していた。

調査地は、本多家上屋敷跡(石川県立美術館付近)西側の小立野台地の斜面で、藩政期には近辺に「裏坂」があった「美術の小径」の北西側にあたる。ここは上屋敷の裏手西辺にあたり、小立野台地崖上端部を縁取って築造されている塀跡および2カ所の門跡、門跡から下屋敷方向へと下る坂道、および塀跡と坂道に付属する3カ所が市史跡「本多家上屋敷西面門跡及び塀跡 附道跡」に指定されている。

今回は、美術の小径北側の門跡からつづら折りに台地下へと下る道跡の法面に築かれている2基の石垣について、三次元レーザー測量を実施し、石垣の立体形状を詳細に記録するとともに、デジタルカメラの画像補正データと重ね合わせた立面イメージを作成した。また、石垣面の凹凸状況の度合いを段彩表示した立面画像を作成した。



道跡と上・下段石垣



三次元レーザー測量成果の鳥瞰イメージ

## 2. 埋蔵文化財分布調査事業

### (1) 平成 26 年度埋蔵文化財分布調査事業の概要

金沢市では、公共事業に関する土木工事や建設工事及び民間の開発行為や農地転用の際に、金沢市遺跡地図に基づき図面調査及び現地での踏査・試掘調査を実施し、開発事業着手前に埋蔵文化財の有無を確認している。

平成 26 年度は、金沢市施工の公共事業 14 件、民間の開発事業・農地転用等 112 件について、埋蔵文化財の有無を調査した。以下はその一覧である。

なお、平成 23 年度より、開発事業に伴う試掘確認調査については国庫及び県費補助事業にて実施しており、平成 26 年度の事業費は 3,247 千円であった。

このほか、周知の埋蔵文化財包蔵地内における工事等に伴うもので、文化財保護法第 93 条に基づく慎重工事及び工事立会での対応となったものは 24 件で、別表のとおりであった。

### 公共事業に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	事 業 名	担当課	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	本多町 3 丁目 2-1	緑地整備	企画調整課	5 月 31 日	3,115.25㎡	試掘	有	要協議（金沢城下町遺跡（本多町 3 丁目地点））
2	木越町地内	道路建設	道路建設課	4 月 23 日	14,174.42㎡	試掘	有	H26～28 年度発掘調査（木越光徳寺跡）
3	北間町地内	道路建設	道路建設課	7 月 1 日	1,100㎡	試掘	無	支障なし
4	大浦町ヌ 87	小学校グラウンド整備	教育総務課	7 月 14 日	8,377㎡	試掘	無	支障なし
5	横山町地内	市街地再整備	市街地再生課	7 月 23 日	500㎡	試掘	無	支障なし（横山氏屋敷跡）
6	下石引町地内	配水管改良	企業局建設課	7 月 30 日	-	試掘	無	支障なし（金沢城下町遺跡）
7	木越町地内	道路建設	道路建設課	8 月 1 日	10,200㎡	試掘	有	H27 年度発掘調査（木越コウタイジン遺跡）
8	木越町地内	道路建設	道路建設課	9 月 22 日	598.57㎡	試掘	無	支障なし
9	千木町地内	道路建設	道路建設課	10 月 2 日		試掘	無	支障なし
10	大浦町・千田町地内	道路建設	道路建設課	11 月 10 日	21,456㎡	試掘	有	H27 年度発掘調査（千田北遺跡）
11	玉川町地内	公園造成	緑と花の課	11 月 27 日	113.04㎡	試掘	無	支障なし（長氏屋敷跡）
12	飛梅町 3-31	博物館改修	文化政策課	12 月 1 日	100㎡	試掘	有	H27 年度発掘調査（金沢城下町遺跡（飛梅町 3 番地点））
13	田島町地内	林道建設	森林再生課	12 月 4 日	4,875㎡	踏査	無	支障なし
14	窪三丁目 305～307	公園造成	緑と花の課	12 月 24 日	1,000㎡	試掘	無	支障なし

## 民間の開発行為に係る埋蔵文化財調査一覧

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
1	広岡 1 丁目 902	複合商業施設建設	4 月 1 日	3,014.82㎡	試掘	無	支障なし
2	藤江南 3 丁目 23-1 外	ホテル建設	4 月 3 日	6,006.02㎡	試掘	無	支障なし
3	笠舞 3 丁目 440-3	葬儀場建設	4 月 2 日	3,825.52㎡	試掘	無	支障なし
4	本江町 351	住宅建設	4 月 8 日	73.77㎡	試掘	無	支障なし (犀川鉄橋遺跡)
5	花園八幡町甲 4	索道基地設置	4 月 9 日	1,492. ㎡	試掘	無	支障なし
6	諸江町下丁 117-1	共同住宅建設	4 月 10 日	1,039. ㎡	試掘	無	支障なし
7	磯部町 11-1	鉄塔新設	4 月 10 日	225. ㎡	試掘	無	支障なし (沖町遺跡)
8	有松 2 丁目 3-70	住宅建設	4 月 11 日	107.29㎡	試掘	無	支障なし (有松 D 遺跡)
9	松村町ヌ 75 外	店舗建設	4 月 16 日	11,185.93㎡	試掘	無	支障なし
10	近岡町 105-1	貸家建設	4 月 16 日	631. ㎡	試掘	無	支障なし
11	末町拾六字 65-1	分譲住宅建設	4 月 17 日	395. ㎡	試掘	無	支障なし (末遺跡)
12	彦三町 1 丁目 591	住宅建設	4 月 25 日	65.38㎡	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡 (彦三町一丁目 14 番地点))
13	兼六町 4	店舗兼住宅建設	4 月 25 日	97.13㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡 (兼六町 2 番地点))
14	伏見台 3 丁目 196,197	住宅建設	4 月 28 日	166. ㎡	試掘	無	支障なし (円光寺向田遺跡)
15	直江土地区画整理事業地内 43 街区	区画整理	5 月 1 日	2,997. ㎡	試掘	無	支障なし (直江北遺跡)
16	金石東 3 丁目 150-1,152	宅地分譲	5 月 1 日	1,554.21㎡	試掘	無	支障なし
17	笠舞 2 丁目 324	住宅建設	5 月 1 日	168.64㎡	試掘	無	支障なし (笠舞 B 遺跡)
18	三馬 3 丁目 244 他 3 筆	店舗建設	5 月 2 日	1,341.77㎡	試掘	無	支障なし
19	高島 2 丁目 172-2,173-1	住宅建設	5 月 7 日	132.32㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
20	吉原町ヨ 66	住宅建設	5 月 9 日	234.14㎡	試掘	無	支障なし (吉原法華堂古墳群)
21	長坂 1 丁目 124,176-1,177-1	共同住宅建設	5 月 12 日	2,122.44㎡	試掘	無	支障なし
22	安江町 464	未定	5 月 14 日	171.47㎡	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡 (安江町 15 番地点))
23	堅田町ヘ 74-1 外	病院建設	5 月 7 日	22,900. ㎡	踏査	無	支障なし
24	長坂町チ 15	病院建替	5 月 23 日	15,652.93㎡	試掘	無	支障なし (長坂古墳群)
25	泉野町 5 丁目 68,69	住宅建設	5 月 26 日	408. ㎡	試掘	無	支障なし (泉野遺跡)
26	高島 2 丁目 154	住宅建設	5 月 28 日	166.05㎡	試掘	無	支障なし (高島遺跡)
27	入江 3 丁目 170,171,172	未定	6 月 2 日	1,886.56㎡	試掘	無	支障なし



ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
28	八日市 3 丁目 524-2	住宅建設	6 月 9 日	147. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (八日市 B 遺跡)
29	近岡町 423 外	宅地造成	6 月 5 日	1,600. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
30	横枕町イ 30-1	住宅建設	6 月 9 日	504. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (法光寺遺跡)
31	松村 5 丁目 144	住宅建設	6 月 12 日	389.49m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (松村 B 遺跡)
32	沖町ニ 35	住宅建設	6 月 12 日	681. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
33	桂町イ 36-1	事務所兼工場建設	6 月 18 日	442.4 m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (無量寺 B 遺跡)
34	寺中町ホ 52-4	住宅建設	6 月 24 日	330.59m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (畝田・寺中遺跡)
35	押野 2 丁目 125-1	住宅建設	7 月 3 日	113.7 m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (押野西遺跡)
36	長坂 2 丁目 244	住宅建設	7 月 3 日	383. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
37	彦三町 1 丁目 124	住宅建設	7 月 4 日	105.75m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (金沢城下町遺跡 (彦三町 1 丁目 5 番地点))
38	東長江地内	太陽光発電所建設	7 月 10 日	95,774. m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし (長屋城跡)
39	桂町イ 34-1 外	店舗建設	7 月 15 日	1,332.3 m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (無量寺 B 遺跡)
40	高尾 3 丁目 67-7	住宅建設	7 月 16 日	118.67m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高尾新町遺跡)
41	長坂 2 丁目 11-1 外	共同住宅建設	7 月 16 日	190.12m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (長坂 A 遺跡)
42	横山町 774,774-3	住宅建設	7 月 23 日	100.95m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
43	元菊町 328-17	未定	7 月 29 日	153.03m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (元菊町遺跡)
44	高尾南 1 丁目 85	住宅建設	7 月 29 日	372.32m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (高尾遺跡)
45	大額 2 丁目 46 外	店舗建設	8 月 5 日	7,014.31m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
46	畝田西 3 丁目 86	住宅建設	8 月 11 日	93.43m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (畝田遺跡)
47	矢木 3 丁目 201 ~ 204	分譲住宅	8 月 18 日	1,439. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
48	横山町 697,698	住宅建設	8 月 18 日	224.78m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (横山氏屋敷跡)
49	湊 4 丁目 3 番 8 外	事務所建設	8 月 19 日	150. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (無量寺遺跡)
50	寺中町ホ 82-3	住宅建設	8 月 20 日	240. m <sup>2</sup>	試掘	有	工事立会 (畝田・寺中遺跡)
51	四十万 3 丁目 387-1,2	住宅建設	8 月 20 日	275.52m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし (三十刈遺跡)
52	沖町イ 1-1 外	倉庫の増築	8 月 27 日	20,607.21m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
53	黒田 2 丁目 347	住宅建設	9 月 3 日	172.8 m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 (古府遺跡)
54	袋町 145	駐車場工事	9 月 2 日	40. m <sup>2</sup>	立会	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
55	香林坊 2 丁目 299	事務所建設	9 月 5 日	123.5 m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議 (金沢城下町遺跡 (香林坊二丁目 12 番地点))

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
56	南千谷町、加賀朝日町地内	ソーラーパネル設置	9月8日	34,545㎡	踏査	無	支障なし
57	畝田東3丁目107	駐車場造成	9月9日	659㎡	試掘	無	支障なし (畝田ナベタ遺跡)
58	横川2丁目119外	貸家建設	9月11日	1,485㎡	試掘	無	支障なし
59	本江町252-1外	有料老人ホーム建設	9月11日	1,209.85㎡	試掘	無	支障なし
60	近岡町802	駐車場造成	9月29日	816㎡	試掘	有	要協議 (近岡遺跡)
61	西金沢新町134-1	事務所建設	10月1日	4,400㎡	試掘	無	支障なし (西金沢新町遺跡)
62	笠舞1丁目327-1外	住宅建設	10月3日	333.86㎡	試掘	無	支障なし (笠舞A遺跡)
63	高尾3丁目4-1外	店舗建設	10月7日	1,260.23㎡	試掘	無	支障なし
64	額新保2丁目176	共同住宅建設	10月8日	1,049㎡	試掘	無	支障なし
65	飛梅町1-10	校舎増築及び改築	10月12日	1,190㎡	試掘	無	支障なし(金沢城下町遺跡 (奥村氏(宗家)屋敷跡地区))
66	小立野3丁目24-13外	老人福祉総合施設 建設	10月14日	1,372.32㎡	試掘	無	支障なし
67	神田2丁目87-1	住宅建設	10月14日	152.1㎡	試掘	無	支障なし
68	安江町13-9	住宅建設	10月15日	46.73㎡	試掘	無	支障なし (安江町遺跡)
69	丸の内17-5	事務所ビル建設	10月20日	1,000㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
70	尾張町1丁目128-1,129	住宅建設	10月22日	196.56㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
71	高岡町22-28	住宅建設	10月22日	70.05㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
72	涌波1丁目110外	店舗建設	10月24日	2,215.41㎡	試掘	無	支障なし
73	高岡町384-6,7	共同住宅建設	10月27日	159.86㎡	試掘	無	支障なし (金沢城下町遺跡)
74	新保本1丁目436-5	住宅建設	11月5日	117.65㎡	試掘	有	要協議 (新保本町南遺跡)
75	矢木3丁目275	共同住宅建設	11月5日	623. ㎡	試掘	無	支障なし (矢木ジワリ遺跡)
76	寺地2丁目23	未定	11月10日	412. ㎡	試掘	無	支障なし (有松C遺跡)
77	森戸1丁目177,180-1,180-3	住宅建設	11月11日	458.85㎡	試掘	無	支障なし (森戸住宅遺跡)
78	松村7丁目67	住宅建設	11月25日	664. ㎡	試掘	無	支障なし (松村A遺跡)
79	大額3丁目56外	宅地造成	11月26日	1,139. ㎡	試掘	無	支障なし
80	金石本町口28-1	宅地造成	12月8日	491.65㎡	試掘	無	支障なし (金石本町遺跡)
81	北町乙34-1	宅地造成	12月8日	462. ㎡	試掘	無	支障なし (北町遺跡)
82	稚日野町南67	宅地造成	12月10日	497. ㎡	試掘	無	支障なし (稚日野遺跡)
83	矢木3丁目273,274	未定	12月10日	651. ㎡	試掘	無	支障なし (矢木ジワリ遺跡)

ID	場 所	行為の内容	回答日	面 積	調査方法	結果	対 応
84	加賀朝日町参字 31 外	道路整備	12 月 12 日	43,000. m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし
85	安江町 11-35	店舗兼住宅建設	12 月 15 日	178.23m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議（金沢城下町遺跡 （安江町 11 番地点））
86	有松 5 丁目 44 外	店舗建設	12 月 16 日	1,684.88m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
87	笠舞 2 丁目 8-4	住宅建設	12 月 24 日	138.06m <sup>2</sup>	試掘	有	慎重工事 （笠舞 B 遺跡）
88	南森本町ル 178,179	宅地分譲	1 月 6 日	1,391.64m <sup>2</sup>	試掘	有	H26 年度発掘調査 （南森本遺跡）
89	湊 2 丁目 169	未定	1 月 6 日	2,294. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
90	金石本町ハ 27	宅地造成	1 月 8 日	600. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （金石本町遺跡）
91	袋町 175,176,185	住宅建設	1 月 8 日	126.78m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （金沢城下町遺跡）
92	瓢箪町 877-1	住宅建設	1 月 14 日	735.94m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （瓢箪町遺跡・金沢城下町遺跡）
93	松村 7 丁目 87-2	住宅建設	1 月 14 日	322.72m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （松村 A 遺跡）
94	金石東 1 丁目 101	宅地造成	1 月 16 日	283.63m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （金石本町遺跡）
95	木越町レ 15-2	仮設事務所建設	1 月 19 日	844.37m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （木越光琳寺跡）
96	伏見新町 331 外	店舗建設	1 月 19 日	1,695. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
97	彦三町 1 丁目 5-34	店舗建設	1 月 20 日	365.74m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （金沢城下町遺跡）
98	松村 6 丁目 166-1,167-1	宅地造成	1 月 26 日	1,009. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （松村西の城遺跡）
99	玉鉦 4 丁目 111,114	寺院建設	1 月 26 日	46,263.34m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
100	古府 2 丁目 165	宅地造成	2 月 2 日	515. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （古府 B 遺跡）
101	古府 3 丁目 134、141	宅地造成	2 月 2 日	1,114. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （古府 B 遺跡）
102	四十万 3 丁目 425	共同住宅建設	2 月 9 日	222.6 m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （三十刈遺跡）
103	御所町ヲ地内	林道開設	2 月 16 日	30,000. m <sup>2</sup>	踏査	有	計画変更 （御所二条館跡）
104	窪 1 丁目 81-2	住宅建設	2 月 17 日	201.64m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （高尾城跡）
105	小原町、新保町、平栗地内	産業廃棄物処分場設置	2 月 27 日	68,840. m <sup>2</sup>	踏査	無	支障なし
106	四十万 3 丁目 366 ～ 368	共同住宅建設	3 月 6 日	978. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （三十刈遺跡）
107	尾山町 11-1	店舗建設	3 月 10 日	50.59m <sup>2</sup>	試掘	有	要協議（金沢城下町遺跡 （尾山町 11 番地点））
108	利屋町る 28-2 外	工場増設	3 月 16 日	5,302.42m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし
109	新保本 5 丁目 22,24 ～ 26	保育所建設	3 月 17 日	1,917. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （新保本町チカモリ遺跡）
110	神野 2 丁目 15	共同住宅建設	3 月 19 日	506. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （南塚遺跡）
111	西金沢 5 丁目 306-1 外	長屋建設	3 月 20 日	360.04m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （保古町遺跡）
112	矢木 3 丁目 266 ～ 269	宅地造成	3 月 27 日	1,295. m <sup>2</sup>	試掘	無	支障なし （矢木ジワリ遺跡）

(別表) 土木工事のための発掘届・発掘通知一覧

ID	届・通知の別	場 所	行為の内容	届出日	取扱通知日	面積	遺跡名	対応
1	93条(届)	彦三町1丁目 105,112	車庫建設	4月8日	4月17日	47.3㎡	金沢城下町遺跡	慎重工事
2	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 25 街区 14	自己専用住宅	4月10日	4月17日	269.㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
3	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 40 街区 17	個人住宅建設	5月1日	5月9日	210.㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
4	93条(届)	彦三町1丁目 591	個人住宅建設	5月2日	5月9日	70.81㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
5	93条(届)	戸板第二土地区画整理事業地 63 街区 5,6,9,10-1,10-2	共同住宅建設	5月19日	5月26日	801.㎡	桜田・示野中遺跡	工事立会
6	93条(届)	本町1丁目 70-1	共同住宅建設	6月1日	6月1日	4,532.11㎡	本町1丁目遺跡	工事立会
7	93条(届)	彦三町1丁目 124	個人住宅建設	7月7日	7月10日	101.17㎡	金沢城下町遺跡	工事立会
8	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 54 街区 2-9	個人住宅建設	7月17日	7月23日	170.㎡	桂町南遺跡	工事立会
9	93条(届)	大手町 265-1,2,3	個人住宅増築	8月28日	9月8日	202.93㎡	金沢城下町遺跡	慎重工事
10	93条(届)	副都心北部直江土地区画整理 92 街区 4	個人住宅建設	9月17日	9月29日	200.㎡	直江ボンノシロ遺跡	工事立会
11	93条(届)	寺中町ホ 82-3	分譲住宅建設	10月6日	10月10日	116.01㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
12	93条(届)	田上第五区画整理 21 街区 6-1,2	個人住宅建設	10月10日	10月27日	233.㎡	田上東遺跡	慎重工事
13	93条(届)	黒田2丁目 347	個人住宅建設	11月18日	11月28日	179.59㎡	古府遺跡	慎重工事
14	93条(届)	大桑2丁目 294	分譲住宅建設	12月2日	12月8日	165.26㎡	大桑アナグチ遺跡	慎重工事
15	93条(届)	田上第五区画整理 4 街区 8	個人住宅建設	12月10日	12月25日	305.㎡	田上北遺跡 若松遺跡	工事立会
16	93条(届)	戸板5丁目 152,153	共同住宅建設	12月22日	12月26日	245.15㎡	出雲じいさまだ遺跡	工事立会
17	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 52 街区 6,7	長屋住宅建設	1月13日	1月19日	398.㎡	桂町南遺跡	工事立会
18	93条(届)	笠舞2丁目 8-4	貸家住宅建設	1月15日	1月22日	138.06㎡	笠舞B遺跡	慎重工事
19	93条(届)	寺中町ホ 82-8	個人住宅建設	1月19日	1月26日	124.53㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
20	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 39 街区 15	個人住宅建設	1月27日	2月6日	183.㎡	畝田・寺中遺跡	工事立会
21	93条(届)	大桑2丁目 230～233	長屋住宅建設	1月29日	2月6日	499.06㎡	大桑アナグチ遺跡	工事立会
22	93条(届)	松村7丁目 204	個人住宅建設	2月6日	2月16日	198.5㎡	松村A遺跡	工事立会
23	93条(届)	木曳野土地区画整理事業施行地区内 26 街区 18	個人住宅建設	2月23日	3月3日	215.42㎡	寺中B遺跡	慎重工事
24	93条(届)	田上の里2丁目 221	個人住宅建設	3月25日	4月2日	240.04㎡	若松遺跡	慎重工事

## (2) 金沢外環状道路海側幹線 4 期区間（大浦町～千木町）建設工事に伴う埋蔵文化財試掘確認調査報告

平成 26 年度、金沢市都市整備局土木部道路建設課より標記工事に伴う埋蔵文化財試掘確認調査依頼があり、年度内に複数回にわたり、大浦町、千田町、木越町、千木町地内において試掘確認調査を実施した。調査は文化財保護課職員立ち会いのもと、掘削機を用いて実施した。

調査では、周知の埋蔵文化財包蔵地である木越光徳寺跡で遺構と遺物を確認したほか、新発見の遺跡として、木越コウタイジン遺跡、千田北遺跡の 2 遺跡を確認した。これら 3 遺跡については、平成 26 年度から 28 年度にかけて発掘調査を実施予定である。

以下に、試掘調査の概要を掲載する。「番号」は試掘調査地点を示し、図中の番号と一致する。「深さ」は遺構面もしくは地山までの深さを cm 単位で示しており、一部地山未到達の箇所は（ ）付きとした。「遺構」「遺物」のうち確認されなかった箇所には×を記した。遺跡が確認された範囲は図中に赤塗りで示し、一覧表の文字を赤字とした。

なお、遺跡の有無の判断は、試掘調査地点において遺構・遺物の有無及び隣接地調査結果により行っている。



平成 26 年度 金沢外環状道路海側幹線 4 期区間（大浦町～千木町）埋蔵文化財試掘確認調査位置図



調査状況（木越町）



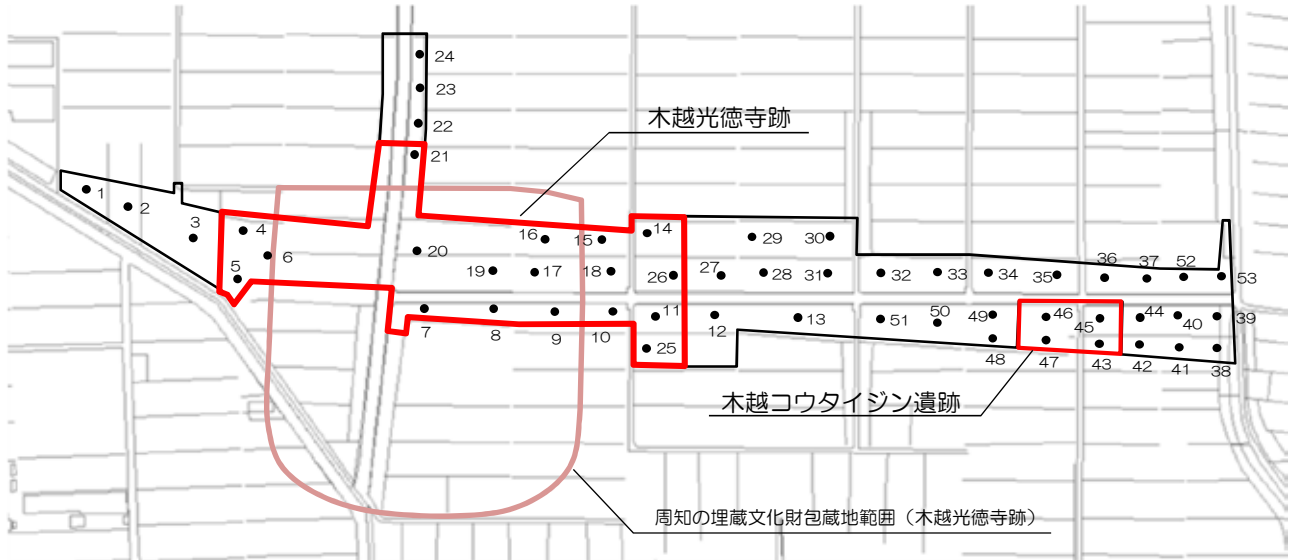
調査状況（千木町）



調査状況（千田町）

① 木越町地内試掘調査概要

調査日：平成26年4月22,23日



No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
深さ	(160)	(100)	(120)	40	(120)	(100)	80	60	70	40	60	50	60	100	80
遺構	×	×	×	ピット	×	×	溝	×	ピット	×	×	×	×	×	ピット
遺物	×	×	×	土師器	珠洲焼	土師器	土師器	×	土師器	×	×	×	×	木製品	珠洲焼
備考	河川跡	河川跡	河川跡												

No.	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
深さ	75	65	60	55	85	65	90	80	130	65	80	90	(140)	100	110
遺構	×	×	×	ピット	土坑か	ピット	×	×	×	土坑	土坑	×	×	×	×
遺物	×	×	×	土師器	×	×	×	×	×	土師器	土師器	×	×	×	×
備考													河川跡		

No.	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
深さ	(120)	120	100	(140)	(120)	100	110	120	(150)	130	(150)	(150)	90	(150)	100
遺構	×	×	ピット	×	×	×	×	溝	×	×	×	×	×	×	溝、ピット
遺物	×	漆器椀	×	×	木製品	×	×	木製品	×	土師器片	×	×	×	×	珠洲焼
備考	河川跡													河川跡か	

No.	46	47	48	49	50	51	52	53
深さ	90	70	80	80	80	100	(170)	(170)
遺構	×	ピット	×	×	×	×	×	×
遺物	土器片	×	×	×	×	×	×	×
備考							河川跡	河川跡

② 木越町・千木町地内試掘調査概要

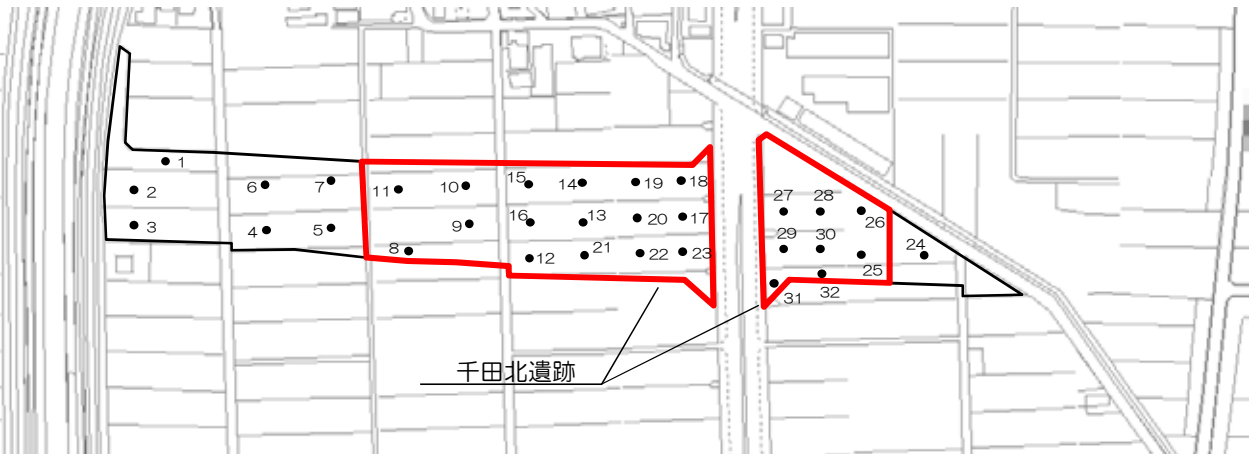
調査日：平成26年10月2日



No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
深さ	90	65	75	120	135	130	115	110	110	115	125	120	90	90	75	65	65	75	75
遺構	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
遺物	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
備考																			

③ 大浦町・千田町地内試掘調査概要

調査日：平成26年11月5日～10日



No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
深さ	140	140	60	80	120	130	110	50	80	70	120	80	70	60	90
遺構	×	×	×	×	×	×	×	溝、ピット	土坑、川	溝	溝	×	ピット	溝	土坑、川
遺物	×	×	×	×	×	×	土師器片	土師器	土師器、緑石片	×	土師器	×	土師器	土師器	土師器
備考							流れ込みか								

No.	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
深さ	90	90	90	50	50	50	50	80	80	55	60	40	50	50	70
遺構	ピット	川か	土坑、溝	溝、ピット	ピット	溝、川	川	川	×	ピット	×	川	川	溝	×
遺物	土器片	土器片	土師器、須恵器	×	土器片	土師器、須恵器	土師皿	須恵器	×	土師器	鋳滓	土器片	土器片	×	土器片
備考															

No.	31	32
深さ	75	70
遺構	川	川
遺物	土器片	土器片
備考		

### 3. 教育・普及・啓発活動事業

#### (1) 歴史ふれあい講座

当センターでは平成12年度より職員が市内の小学校へ出向き、郷土の歴史と埋蔵文化財について児童に直接講義を行う「歴史ふれあい講座」を行っている。近年、小学校では総合学習の時間を利用して、体験活動を通して郷土の歴史を学ぶ機会が増加しているが、そういった教育の場で当センターがこれまで培ってきた市内における発掘調査の成果を利用した「古代体験」の場を積極的に提供することで、郷土の歴史への愛着と埋蔵文化財への理解を深めてもらうことがこの事業の目的である。

「歴史ふれあい講座」は基本的に小学校6年生を対象とし、年度当初の4～5月を開催時期として設定している。これは、この時期が歴史学習の導入時期に当たり、実際に市内各所から出土した土器や石器の実物に触れることで、歴史を肌で感じることができ、これから始まる歴史学習に興味を持つ機会を創出できるとの考えからである。事前に担当職員が学校を訪問し、授業の進捗状況、先生方からの要望を調査することで、各小学校の授業の進捗に沿った講座内容にするべく努めており、事業初年度こそ参加校は8校であったが、近年では市内小学校数の過半数に当たる40校以上の申し込みが寄せられている。しかしながら、各小学校からの開催希望日が重複し、申し込みを断念するケースがあり、全ての申し込みに応えられていないのが現状である。

講座内では貫頭衣の試着、石を使ってのくるみ割り、縄文～古墳時代の遺物見学、最後に火起こしまたは勾玉作りの体験がある。さらに現在の生活と文化財との接点を意識してもらえよう、各小学校の校区内に所在する文化財や埋蔵文化財包蔵地を記した「文化財マップ」を配布し、校区内の遺跡から発掘された出土品を展示している。この内容で、1講座100分を所要する。

平成22年度からは、金沢文化財ボランティア「うめばちの会」の協力のもと、公私協働で事業を行っている。今年度は4月16日の額小学校から始まり、5月30日の医王山小学校に終わる31校で開催した。うち19校では火起こしを、10校では勾玉作りを、2校では土器の見学を中心とした短時間のコースを行った。参加児童数は2,167名、平成12年度からの累計では25,333人となった。

今後も講座内容の積極的な見直し、改善を行い、より多くの児童に歴史に興味を持つ機会を提供できればと考えている。

#### 《過去5年間の事業実績》

実施年度	学校数	講座数	児童数
平成22年度	27	57	1,947
平成23年度	32	71	2,341
平成24年度	33	66	2,214
平成25年度	32	65	2,229
<b>平成26年度</b>	<b>31</b>	<b>67</b>	<b>2,167</b>



火起こし体験



勾玉作り体験



## (2) 金沢こども歴史探検隊

当センターでは平成 15 年度より、将来を担う子どもたちを対象にさらなる歴史体感の場として、市内の史跡・建造物など、実物の歴史遺産をフィールドとした歴史体感活動「金沢こども歴史探検隊」を実施している。これは、ふるさとの歴史をより理解し、地域と協働して貴重な歴史文化遺産を護ってゆく「金沢型の文化財保存活動」を実現する環境の形成を図ることが目的である。

今回は、「金沢市歴史遺産探訪月間」の開催にあわせ、藩祖前田利家をはじめとする歴代の加賀藩主と正室、子女の墓が集まり、国史跡に指定されている野田山の「加賀藩主前田家墓所」を会場として、加賀藩の歴史や墓所の特徴などを題材としたクイズラリーを行った。

クイズの内容は小学校低学年用と高学年用の 2 種類を用意した。あらかじめ配った前田家墓所の見取図に記載されたクイズの配置場所を探し出し、それに答えていくというものである。成績上位者を「加賀藩主前田家墓所博士」として認定し、後日認定証を送付した。クイズ形式とすることで普段見過ごしてしまう細部についても十分に観察でき、実際に文化財に触れてみることで、ふるさとの歴史により一層の親しみをもってくれたようである。

### 《過去 5 回の事業実績》

#### 第 13 回 「加賀藩主前田家墓所探検」

開催日：平成 26 年 10 月 19 日（日）

内 容：加賀藩主前田家墓所のクイズラリー

参加者：小学生および保護者 16 人

実施年度	回数	タイトル
平成 21 年度	9	「加賀藩主前田家墓所探検」
平成 23 年度	10	「集え!! 未来の考古学者たち!!」
平成 24 年度	11	「めざせ金沢城博士!!」Vol.3
平成 25 年度	12	「金沢湯涌江戸村探検隊!」
平成 26 年度	13	「加賀藩主前田家墓所探検」Vol.2



墓所の解説



クイズラリー状況



クイズラリー状況



参加者集合写真

### (3) 中屋サワ遺跡出土品 重要文化財指定記念シンポジウム

金沢市いなほ1丁目に所在する中屋サワ遺跡は、縄文時代晩期を主とした多量かつ様々な土器や、木製品・漆塗製品などが出土した遺跡である。特に、漆塗製品は多彩で、編みカゴを漆で塗り固めた籃胎漆器の存在が特筆される。また、漆塗弓には、糸巻き等で装飾したものがあり、当時の漆工技術の実態をよく示している。縄文土器は、いずれの個体も遺存状態がよく、北陸地方における晩期を代表するとともに、他地域の影響をみることもできる。

これらは、北陸地方における縄文文化の木製品・漆塗木製品の多彩さと、土器・石器等の生活用具の組み合わせを良く示す資料であることから、金沢市内出土の考古資料としては初めて、平成26年8月21日に重要文化財に指定された。

この文化財を一般の方々に広く、深く知っていただくために、出土品の評価についての文化庁美術学芸課主任文化財調査官による記念講演、調査担当者による調査成果の報告、有識者を交えたパネルディスカッションで構成されるシンポジウム「石川における縄文晩期の技術」を開催した。

終了後に回収したアンケートでは、文化財の価値を改めて認識したとの意見が多く聞かれた。今後も積極的にこのような機会を設け、歴史遺産の普及・啓発に努めていきたい。

#### 中屋サワ遺跡出土品重要文化財指定記念シンポジウム『石川における縄文晩期の技術』

会場：金沢歌劇座 2階 大集会室

開催日：平成26年11月9日（日）

内容：講演 「縄文時代の工芸技術」

原田 昌幸氏（文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官（考古資料部門））

報告 「金沢市中屋サワ遺跡の調査」

谷口 宗治（金沢市文化財保護課）

パネルディスカッション「中屋サワ遺跡出土品が持つ意義」

コーディネーター：谷内尾 晋司氏（石川考古学研究会会長・金沢市埋蔵文化財調査委員会委員）

パネリスト：原田 昌幸氏（文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官（考古資料部門））

高田 秀樹氏（能登町真脇遺跡縄文館館長）

吉田 淳氏（野々市市文化振興課課長）

谷口 宗治（金沢市文化財保護課）

参加者：131人



講演：原田昌幸氏



パネルディスカッション

#### (4) 史跡活用事業

一般市民に郷土の歴史・文化と埋蔵文化財についての理解を深めてもらい文化財愛護の精神を培うことを目的として各種イベントを開催している。対象は小学生から中学生およびその保護者を主とし、親子がふれあう機会を提供する場にもなっている。各イベントの実施概要は以下の通りである。

なお、開催にあたっては石川県史跡整備市町協議会から助成金をうけている。

##### 【史跡フェスタみわ】

国指定史跡東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡の奈良・平安時代の初期荘園の風景を再現した上荒屋史跡公園を会場に、奈良・平安時代の生活体験イベントを平成9年度より行っている。今年度は雨天の為、三和公民館内で開催した。

実施日：平成26年7月19日（土）

主な内容：古代衣裳試着体験 古代食試食体験  
火起こし体験 勾玉作り 土器作り  
繭糸取り体験 土器・パネル展示等

参加者：約150人

委託先：金沢市三和公民館振興協力会



古代衣裳試着体験（史跡フェスタみわ）

##### 【チカモリ縄文まつり】

国指定史跡チカモリ遺跡の縄文時代の遺構を復元したチカモリ遺跡公園を会場に、縄文時代の生活を体験するイベントを平成7年度より行っている。

実施日：平成26年8月3日（日）

主な内容：火起こし体験 勾玉作り 土器作り  
縄文食試食体験 クルミ割り体験  
貫頭衣試着体験 ハンターゲーム等

参加者：約300人

委託先：金沢市西南部公民館振興協力会



土器作り体験（チカモリ縄文まつり）

##### 【古代の里探訪会】

「金沢市歴史遺産探訪月間」にあわせ、国史跡である金沢市チカモリ遺跡、東大寺領横江荘遺跡上荒屋遺跡、野々市市御経塚遺跡、白山市東大寺領横江荘遺跡荘家跡をウォーキングで巡る探訪会を開催した。

コースは3市にまたがる遊歩道などを中心に設定し、ガイダンス施設と各史跡では各市の担当者による説明と質疑応答が行われた。

実施日：平成26年10月12日（日）

参加者：約40人



上荒屋遺跡の解説（古代の里探訪会）

## (5) 現地説明会

発掘調査の成果を市民に還元する活動のひとつとして、発掘調査現地説明会を実施している。現地説明会は、市民が実際に発掘調査を行っている現場を直に見学できる数少ない機会となっており、埋蔵文化財を身近に感じることができるため、毎回好評を得ている。

今年度は、木越光徳寺跡、砂子坂道場跡の2カ所において現地説明会を開催した。開催概要は下表のとおりである。

このうち砂子坂道場跡については、金沢市が市民に対して文化財に気軽に触れる機会を提供することを目的として平成19年度から開催している「金沢市歴史遺産探訪月間」の一環として実施した。

### 《現地説明会一覧》

遺跡名	場 所	開催日	対象	参加者数
木越光徳寺跡	金沢市木越町地内	平成26年10月18日	一般市民	50人
砂子坂道場跡	金沢市砂子坂町地内	平成26年10月25日	一般市民	43人



木越光徳寺跡：遺構の解説



木越光徳寺跡：遺物の解説

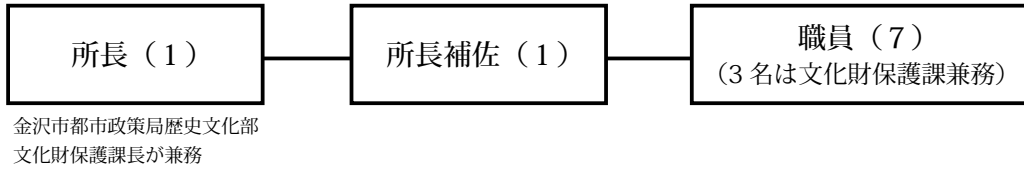


砂子坂道場跡：遺構の解説



砂子坂道場跡：南砺市側の遺構の解説

## 4. 組織



平成 26 年度  
金沢市埋蔵文化財調査年報

平成 27 年 3 月 31 日発行

発行 金沢市

編集 金沢市埋蔵文化財センター

〒 920-0374

金沢市上安原南 60 番地

TEL : 076-269-2451

FAX : 076-269-2452

Mail : maibun@city.kanazawa.lg.jp

